

Minami Kyushu University Syllabus						
シラバス年度	2023年度	園講キャンパス		都城キャンパス		
科目名称	近代庭園学特論 I			実務経験		Active・L ○
科目コード	642527	単位数	2単位	学位授与方針との関連	DP1	
教員氏名	岡島 直方					
授業概要	近代において、時代の変化とともに風景や緑地に対する見方、考え方が転換する出来事が何回か起こった。特論の前半ではそれ以前と以降に何が変わったのか、変わり方に影響を与えたものについて考える。後半では造園デザインプロセスに関わる変化を学ぶ。					
関連する科目	「東洋庭園学特論 I」、「西洋庭園学特論 I」					
授業の方法と進め方	テキストや配布するプリント、関連書籍などを読みながら進めていく。大学院生としてのテーマは、必ずしも授業計画に登場するものが主題とは限らないであろうから、本人のテーマについても適宜検討を行う。					
授業計画	第1回. 雑木林の庭 1 (文学, 絵画とのつながり:テキスト使用) 第2回. 雑木林の庭 2 (文学, 絵画とのつながり:テキスト使用) 第3回. 雑木林の庭 3 (文学, 絵画とのつながり:テキスト使用) 第4回. 雑木林の庭 1 (庭の実作) 第5回. 雑木林の庭 2 (庭の実作) 第6回. 表現として表れた内容としての風景 (「武蔵野」より) 第7回. レファレンスにより現れる風景 (「武蔵野」より) 第8回. 自然を描くこと (「自然と人生」より) 第9回. 人の造りだした森 (例、明治神宮) 第10回. メディアミックス演習 第11回. 造園緑地関係英書講読 1 第12回. 造園緑地関係英書講読 2 第13回. 造園緑地関係英書講読 3 第14回. 造園緑地関係英書講読 4 第15回. 造園緑地関係英書講読 5					
授業の達成目標	本論で扱う、明治時代に始まった、顕著な空間意識への変化を理解することが出来るようになること。参加型のデザインについて理解すること。ものづくりのプロセスについて新しい潮流に敏感になること。					
授業時間外の学修	各々予習、復習を30分~1時間程度必要とする。					
課題に対するフィードバック	大学院生が選んだテーマについてを主体として、内容のチェックを適宜行う。レポートなどの課題を通じて、フィードバックを行う。			評価方法・基準		受講態度 (50点), レポート (50点)
テキスト	1. 『雑木林が創り出した景色』, 岡島直方, 郁朋社					

参考書	関連書籍は授業のはじめに紹介する。
備考	